

しまなみロード

8月16日(水) ~ 8月19日(土)

IN しまなみ海道(尾道市マリユースセンター、みやくぼ石文化交流館)

	午前	午後	夜
1日目	尾道に向けて出発	向島出発 ユースセンター到着	振り返り
2日目	サイクリング(因島、生口島、大三島、伯方島、大島)		振り返り
3日目	今治市へ出発	今治市内散策	フェリー乗船、振り返り
4日目	関西に到着・解散		

一日目: 今年もしまなみの時期がやってきました。台風一過で蒸し暑さが戻ってきた中、元気なメンバーが揃いました。尼崎から在来線に乗って現地へ向かいます。道中、時間はたっぷりあるので、自己紹介やしまなみ海道についての話、お互いの趣味や共通の話題など、沢山話をしました。車内で昼食を済ませ、昼過ぎに尾道に到着しました。尾道もとても暑かったのですが海風が涼しく、これからの走りがとても楽しみです。自転車を借り、走り方の練習をしました。普段乗っている自転車とは異なるため、初めはぎこちない感じでしたが、徐々に慣れてきた様子でした。皆が慣れてきたので、ついに【しまなみロード】出発です!! 渡船で初めの島“向島”に渡り、自転車でまたがり出発しました。どのグループも集団で走る事に慣れていないので、間が離れたり、進む速度がバラバラだったり、まだまだ連携が取れていない様子でした。そういう時は声を出して、調整を試みる姿が伺えました。なんとか無事に初日の宿泊場である“マリユースセンター”に到着しました。到着次第、寝床の作成として、テント設営をしました。行きの車内と自転車で関係性はしっかり構築出来ていたので、声を掛け合い、楽しそうにテントを立てておられました。汗をいっぱいかいた体をシャワーで洗い流し、スッキリした後は夕食を済ませ、振り返りとして、【未来日記】を作成しました。今日一日の自分達の動きを振り返り、明日の目標を絵日記にして決めていきます。明日は長距離を走ります。しっかり休んで、大いに楽しんでいきましょう!!



二日目: 昨晩まで終日雨予報でしたが、なんと今朝の予報は曇りに変わっており、そして合間に青空まで見えます! 天候に最高に恵まれた一日となりそうです!! 起床後、身支度を整えるとテントの片付けがあり、朝から大忙しです。皆で手分け、協力して済ませ、ようやく朝食にありつけました。お腹一杯食べた後、最後の片付けを完了させると、長い一日の始まりです。今日一日で島を五つ渡ります。メンバーのやる気は満ち溢れており、自転車の走る順番を【自分がやりたい】で決めるのではなく、『グループにとって有益』に動けるようにしっかり話し合い、隊列を組まれていました。島々を繋ぐ橋はとても大きく、渡る時テンションが上がり、笑顔が溢れていました。下り坂は速度が出すぎると危険なので、リーダーを先頭に調子に乗らず、慎重に進みました。逆に上り坂は声を出し、足を止めないようひたすらエールを送り続けました。今日と明日の昼食はお店にて自分達で選び買います。どれにしようかメンバー同士で話し合う楽しい時間を過ごしました。こうした気分転換も必要です。三つ目の島、【生口島】にて海水浴が出来る場所があるので、暑い体を冷ます為に海に入り、存分に楽しみました。中には服のまま入り、「走ったら乾くやろ。」という方もおられました。少し遊びすぎて、逆に疲れてしまった方もおられましたが、良い気分転換にはなったと思います。後半になるにつれ、足取りは重く、なかなか前に進めません。そうした時こそ、仲間がポジティブになれる声を出し、一丸となって走る姿は大きな成長を感じさせられました。本日の宿泊場である“みやくぼ石文化交流館”に続くど根性坂が最後のひと踏ん張りです。中には辛くて泣き出してしまう方もおられましたが、全員最後までゴールすることが



出来ました。施設に着くと、お風呂に入り、カレーを食べ、未来日記を作成しました。しかし、眠気には勝てず、ウトウトしてしまうメンバーもおられ、今日の疲れが物語っていました。本当にお疲れ様でした。



三日目： 朝はこちらが起こすまで、誰一人起きず、ぐっすり眠られていました。起床後は、身支度と部屋の清掃をし、朝食を済ませました。この頃には目も覚め、いつもの活気が戻っていました。今日はゴールの今治城を目指します。序盤は長い下り坂が続きます。坂道を滑走すると風があたり、とても気持ち良さそうでした。スピードを出しすぎないように声を掛け合い、お互い注意喚起もされていました。坂を下りきると、目の前に最後の橋、“来島海峡大橋”が見えてきました。これまでの橋より比べ物にならないくらい大きく、長い橋に驚きを見せておられましたが、「楽しい!!」、「気持ちいい!!」と仰る姿が伺え、この三日間で成長を感じることが出来ました。大橋を渡りきると、四国本土に上陸です。今治市内に入ると一気に交通量が増えたので十分に気を付け、ついにゴールの“今治城”に辿り着くことが出来ました。距離にしてそこまで長い距離ではなかったのですが、疲れはあまり見られませんでした。着いた安堵感は表情に滲み出ていました。ゴール後は、今治市内の観光とお土産購入タイムです。今治城の天守閣から見える景色は市内を一望することが出来ました。お土産は愛媛県の名産や、【今治タオル】の本店に行き、高級タオルを購入しました。夕飯は支給されたお小遣いから各グループ、お店に入りいただきました。キャンプ最後の夕食を楽しく過ごしました。夕食後、今治駅に集まり三日間お世話になった自転車を返却しました。駅前からバスに乗り、東予港へ向かいました。港にはフェリーが停泊しており、初めて目にするメンバーは大きさに驚きを見せておられました。船内はホテルのような広さに皆大興奮です。部屋に入り、入浴、振り返りを済ませました。甲板にて出港を見届け、布団に入ると、瞬く間に寝息が聞こえてきました。



四日目： 朝起きると既に船は停泊しており、大阪南港に到着していました。身支度を済ませ、船内にて朝食を済ませました。これがグループ、友達と一緒に食べる最後の食事です。最後まで楽しく談笑をしながらいただきました。食後は、下船し、最後の振り返りをしました。この四日間をどう過ごし、何を感じ、学んだのかを話し合いました。走る前と後では、皆の表情や雰囲気は大きく変わっており、話し合う姿勢や内容からも成長を感じられました。振り返り後は、地下鉄、JRを乗り継ぎ、尼崎に帰ってきました。これまで緊張されていた表情に緩みが出てきました。解散後にメンバー同士、握手を交わしたり、また会う約束をしたりし、各々別れました。



<キャンプ総括>

今年のしまなみは天候に大変恵まれました。当初は二日目、三日目ともに雨予報でしたが、我々のいるところだけ雨が降らず、途中晴れ間が見えるほどでした。皆さんの日頃の行いに感謝致します。初日の出発前に【自転車の危険性】について話をしました。自転車は身近な乗り物であります。メンバーにとって『車』である意識はあまりありません。ゆえに交通ルールの遵守を疎かにしたり、危険な運転をしたりされます。しまなみでは、自転車は車であり、人や物を傷付ける乗り物であることを厳しく教えます。それをするしないとは、怪我や事故の具合は雲泥の差であると考えております(しない場合をしたことはありませんが…)。今回も皆さんがしっかり守っていただいたので、大きな怪我や事故が起らずに済みました。こうした経験値を是非ともご家庭でも活かしていただきたいです。キャンプは体験から一人一人の心の成長を促しますが、こうした生活向上にも役立っていただけよう、これからも伝えていきます。

(竹中 哲郎)